



玉名ロータリークラブ週報

2019
?
2020



R I 会長	■	マーク・ダニエル・マローニー			
地区ガバナー	■	瀧			満次
会長	■	松	崎	健	司
幹事	■	堀	本	武	子
公共イメージ向上・IT委員長	■	坂	梨	恭	

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30
 例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
 TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008
 事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
 TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

令和2年6月18日 No.2473
 (於 玉名市民会館会議室)

玉名RCメールアドレス jimu@tamanar.club
 ホームページ <http://tamanar.club>



【会長の時間】松崎会長

久しぶりにロータリーを考えて

例会の始まりに、私たちは、「ロータリーの目的」「四つのテスト」を唱和します。

「ロータリーの目的」の第2に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」と述べられております。

また、「四つのテスト」は、事業と専門職における倫理について述べた生命といわれ、「みんなのためになるかどうか」と最後に強調、締めくくってあるように感じます。

2018-2019年度ロータリー関連資料によると、「職業奉仕とは、事業及び専門職務の道德水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである」という認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を實踐していくという目的をもつものと説かれ、

会員の役割には、ロータリーの理念に従って、自分自身を律し、事業を行うこと、そして事故の職業上の手腕を社会問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが寛容かといわれております。

職業奉仕は職業を通して世の中のために尽くすということで、職業倫理をもって自らの職業を行うということでしょう。



そこで、今日は私の専門職として、会員の皆さんにとって少しは役立つと思われることを話してみたいと思います。

前にも簡単に話させてもらいましたが、昨年から今年にかけて相続法にかかる改正並びに施工がなされました。それには大きく7つの制度新設見直しが行われました。それには、従来判例などで積み重なった論点も多くあります。ここでこれまでの流れを振り返っ

て見ますと、昭和22年家督相続制度が廃止され、日本の家族の形そのものが大きな変化を遂げ、昭和55年改正では配偶者の相続分が引き上げられ、寄与分制度の新設（相続人に限られておりましたが）され、相続人間の均衡が図れました。

そして、今回一般に身近に利用される、遺言のことをお話します。みなさんは、まだ必要とされる年代ではないかと思いますが、昨年7月1日から大きく変わったところをお話します。

従来、遺言をしておけば全く揉めることはないと思っていましたし（遺留分の話は別として）、又相談者の方にもそのように説明しておりました。例えば、「遺産全部を長男Aに相続させる」とか「事業財産兼住宅は長男Aに相続させる」旨のいわゆる「相続させる遺言」と呼ばれておりました。新法では「特定財産承継遺言」と言われるもので、今までは良かったが、改正法施工日前にこのような遺言がしてあったとしても、施工日後に遺言者が亡くなった場合、改正法が適用されることとなります。

その結果、事業継承者がその遺言に基づいて相続登記手続きをしないと、A以外の相続人或いはその債権者が、先に遺言の範囲を侵略して相続登記をした場合、どうにもならなくなり、折角の事業継承のための遺言が

無題になることとなります。そのためにも、登記登録を速やかに行うことと言われます。更に検討されていることは、死因贈与契約や家族信託での対応がありますが、そこそこに難しい局面もあり、今後使用してゆく中で、実績を積み重ねより良い制度となっていくことだろうと思います。



本日の行事 6月18日(木)			
	9:00~12:00	13:00~17:00	18:00~22:00
第1会議室	←玉名ロータリークラブ→		
第2会議室		アップル	
第3会議室	明治安田生命	きらきら ~18:00	
第4会議室			

【幹事報告】堀本幹事

- 熊本県青少年育成県民会議より、令和2年度（2020年度）熊本県青少年育成県民会議総会の結果について及び熊本県青少年育成県民会議における賛助会員募集についてが来ています。
- 八代RCより、週報が来ています。

【スマイル報告】渡邊太委員長

松崎会長・堀本幹事・・・委員長の皆様、一年を振り返ってお疲れ様です、よろしくお祈りします

深見さん・・・昨日のバーデー会で堀本幹事がなだたるライバルを倒し優勝されたそうです、おめでとうございます。

田原さん・中島さん・・・ボリュームのありすぎで美味し
お弁当でしたが残してしまいました。

松本さん・鶴田さん・宮本浩さん・山田司さん・吉岡さん・坂梨さん・吉田光さん・吉田彰さん・本田さん・渡邊太さん・小山さん・福田さん・前田さん・田中さん・委員長の皆様、一年を振り返ってお疲れ様です。



前回までの累計 ￥850,000
今 回 ￥ 20,000
合 計 ￥872,000

【出席報告】渡邊太委員長

本日の出席	会員数	49 (46) 名	欠席者	浅地 井上 志賀 田上 上村 上田継 上田士 山田勝 吉永
	出席数	34 名		
	出席率	73.91%		
前回の出席	前回出席数	28 名	前回の メイクアップ	本田
	修正出席数	29 名		
	修正出席率	64.45%		
出席規定適用免除者		10 名		

【今後のプログラム予定】

6月25日(木) 夜例会 会長・幹事一年を振り返って
場所：江戸長



【一年を振り返って 各委員長】

各クラブの委員長より一年を振り返って、報告事項や反省点などお話しがありました。

◇クラブ管理運営委員会：大石委員長

「出前管理運営セミナー」を実施出来た。2月には当会員の前田先生による大変ためになる講和を開催でき良かった。

◇SAA、出席(スマイル)委員会：渡邊太委員長

お陰様で、スマイルが 872,000 円集まりました。

◇親睦活動委員会：福田委員長

後半はコロナウイルスにより開催できなかったものもありましたが、ゴルフ大会や親睦麻雀大会、家族懇親会のバーベキュー大会が開催出来、会員の親睦を深めることが出来ました。

◇メイクアップ委員会：吉田光委員長

SAA 委員、先輩方との連携をとりながら、メイクアップの充実と出席率向上に努めなければならなかったと感じています。

◇公共イメージ向上・IT 委員会：坂梨委員長

週報の作成が遅く、皆さんにご迷惑をお掛けしたことが一番の反省点です。

◇会員増強委員会(ロータリー炉辺塾)：山田邦委員長

今年度は 2 名の新入会員を迎えることができ良かったです。

◇奉仕プロジェクト委員会：田原委員長

後半がコロナウイルスの影響により、殆ど活動が出来なかったことが大変残念でした。

◇職業奉仕委員会：西田委員長 (田原会員代理)

職場訪問を開催出来良かった。

◇社会奉仕委員会：鶴田副委員長

クリーン作戦を 7 月にインターアクト、ロータアクトの皆さん含め活動でき良かったです。

◇国際奉仕委員会：山口委員長 (中嶋会員代理)

馬山 RC40 周年記念の式典にはコロナウイルスの影響により開催されなかったが、馬山中央 RC 朴ガバナー就任式に当クラブの会員 7 名程で参加出来、大変良かったです。



◇青少年奉仕委員会(ロータクト・インターアクト) :

吉岡(ロータクト)

ロータクトクラブについてお詫びとご報告がございます。先月、ロータクトの鹿子木幹事より現在6名いる会員の2名が卒業、3名の会員より退会の申し出があり、残りの1名の会員とは連絡が取れない状況であり、今後の活動が出来なくなる旨の連絡がありました。先週の理事会で報告をさせていただいた結果、今期でロータクトの活動を終了するということになりました。先輩方が平成24年に設立して下さいましたが、このような形で継続出来ず誠に申し訳ございません。

金栗杯の「玉名ハーフマラソン大会」協賛金は中止となり返金となっておりますことをご報告いたします。

品川(インターアクト)委員長

インターアクトクラブに於いては、玉名女子高校に於いて、毎月第二火曜日の例会に堀本幹事と一緒に参加してまいりました。次年度の報告としましては、玉名中央 RC を中心に開催される予定になっておりました年次大会が、コロナウイルスの影響により中止となることになりました、と報告を受けております。

◇ロータリー財団・米山記念奨学委員会: 鶴田(ロータリー財団)委員長、小関(米山記念奨学)委員長(鶴田会員代理)

『R 財団・米山記念奨学委員会 一年を振り返って』

ロータリー財団委員長の鶴田です。

本日は、小関米山記念奨学委員長からことづかっておりますので、併せて御報告いたします。

まず、最初の活動としましては、10月5日に熊本流通情報会館にて開催されたロータリー財団部門研修セミナーに出席し、10月17日の例会において、R 財団の目的と資金の流れについて発表させて頂きました。

また、昨年(2021年)の11月21日には、2720地区ロータリー財団 林明 副部門長をお招きして、主にグローバル補助金と地区補助金についてセミナーを開催して頂きました。

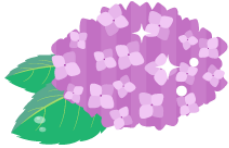
スライドも使用して頂き、大変、わかりやすかったと思います。

続く今年の2月にも大石会員とロータリー財団研修セミナーに出席して参りました。

この時、地区補助金の6つの重点分野に加えて『環境』が追加されたことが報告されました。

今後は、我々が受給する地区補助金の対象が『基本的教育と識字率向上、水と衛生、母子の健康、疾病予防と治療、地域社会の発展、平和と紛争予防解決』に加えて『環境』が追加されたので玉名ロータリークラブでも、この『環境』に関する奉仕活動を検討してみても、と思います。





そして、米山記念奨学委員会では、小関委員長により、10月10日の例会においては、中国の米山奨学生のキョ・エイさんを招き、主にふるさとのシヨウについて卓話をして頂きました。

この際に募金ボックスを設けて26,000円を米山基金に贈ることができました。ご協力ありがとうございました。

最後に、今年度、玉名ロータリークラブは、R財団の年次基金に対して一人108ドルの寄付を実施することができました。会員の皆様のご協力に大変感謝申し上げます。

以上、R財団委員会(と米山記念奨学委員会)の活動報告を終わりますが、次年度も研修会には積極的に参加し、R財団の組織や仕組みについて例会にて報告して、会員の皆様の理解が深まるように努めて参りたいと思います。次年度も、どうぞよろしく願いいたします。

◇クラブ戦略計画委員会：松崎委員長

クラブを長期的に、どういう風につけていくか、育てていくか、ということで、戦略計画を立てております。情報をつかんで、それを参考にして玉名RC独自のクラブ運営に繋げていかなければならないと思っております。来年、再来年と長い期間をかけて作り上げていく必要があると思っております。

◇クラブ財政委員会：本田委員長

委員会の任務の5つありましたが、こちらは全て守れたかと思っておりますが、実施したいことの4つ目の『60周年にむけて、準備・計画をたてる』がコロナウイルスの影響で立てることが出来ませんでした。次年度は副委員長として残りますので、委員長と一緒に頑張りたいと思っております。

